

(1) 落ち着いた学習環境づくりと学力向上

項目	分掌名	達成基準	中間期の達成状況	年度末の達成状況	来年度の取組	評価(中間)	評価(最終)
①落ち着いた授業環境づくりの推進(授業規律の確立)。	1年	ごみの落ちていないHR 整理されたロッカーの上	HRおおむね良い ロッカーの上はまだ	HRの清掃はできた ロッカーの上は継続指導	ロッカーの上の整理の指導継続	B	B
	教務	掲示物、集会の注意で落ち着いた学習習慣作り	授業のルールを掲示 ある程度の効果はあった	昨年度よりはよくなったが、まだ不十分	掲示物の時期、内容の検討	B	B
②授業力の向上。	産業	年間指導計画の確立 系統性を高める	今後、達成状況の確認 次年度への調整中	達成状況確認済み	次年度へ引き継ぐ	B	B
	教務	授業参観率80%以上	6月が67%、10月49%、呼びかける	中間期に同じ	参観方法、教科別検討会の工夫をする。	C	C
	授業改善	学校全体で授業力向上に取組む	全体の取り組みになっていない	公開授業、小学校への授業見学で、意識は高まっている。	意見交換会を持つ 共通テーマの確認	C	C
③魅力ある実験実習への取り組み。	食品	実験手順等を座学で解説し専門知識・技術の深化を図る	各科目で取組めている	各科目で実物提示、ICT活用をすすめる魅力ある実習につながった	今後も継続していく	B	B
④基礎学力の向上。	2年	コラムノートの週末課題提出率80%	80%には届かない	クラスにより差がある。提出率30%~50%		C	C
	進路	確認テスト平均60点	マナトレへの取組中	平均点国語33点→44点 33点→77点	学び直しの科目の導入等を考える	B	B
	グリーン	成績不振者学期末20%以内 学年末10%以内	成績不振者20%程度	2学期末 1年生45% 2年生43% 3年生23%		B	C
⑤授業公開、授業評価の充実。	授業改善	学科・教科で公開授業を実施する	公開授業1回実施	1学期に1回公開授業を実施 小学校、高校の公開授業参加	全校的な取組を計画する	B	C
⑥各種資格・検定の充実。		別紙					
⑦生徒実態に即した少人数学習、TT、習熟度別学習等の推進。	教務	生徒の実態に合った評価方法の検討と徹底	評価基準をまとめた さらに研究したい	評価基準はまとめることができた		B	B

(2) 生活習慣の確立と規範意識の定着

項目	分掌名	達成基準	中間期の達成状況	年度末の達成状況	来年度の取組	評価(中間)	評価(最終)	
①勝高三訓の徹底。・挨拶・身だしなみ・時間厳守・整理・整頓	1年	落ち着いた雰囲気素直に指導に従う生徒が90%以上	80%程度	80%程度達成 SUPの効果は出ている	継続的な指導が必要	B	B	
	2年	正しい着こなしができていない生徒が90%以上	スカートが短い生徒が多い 頭髪は良好	頭髪指導はほぼできた 注意を受ければ直す		B	B	
	3年	遅刻をする生徒を減らす 1日平均2.5人以下	1学期末1日平均3.4人	年間で平均すると1日あたり5.1人		B	B	
	総合	学科としての指導の統一	指導を実施した	定例会議での共通理解はできた	継続的な指導が必要	B	B	
	産業	全員5分前集合	2学期には全員できている	全員できている		A	A	
	生徒		気持ちのいい挨拶率80%	達成できている	達成できている		B	B
			スカート丈基準遵守率80%	30%の生徒が守れている	30%の生徒ができていない			
			化粧生徒5%以内	基準達成できている	達成できている			
			きれいな教室90%	数クラスを除いて常にきれい	80%のクラスが達成できている			
			校内のごみ散乱50%減	少しごみが目立つ	昨年と変わっていない			
進路	進路指導室への入退室時の挨拶 100%来客への挨拶80%	入退室時ほぼ100% 来客に対してほぼ80%	改善がはっきり見られ目標が達成できた		B	A		
②生徒指導の充実。	グリーン	学科集会、学科会議による指導の充実	科としてのまとまりがみられるようになった	科としてのまとまりがみられるようになった	服装頭髪指導の強化 対人関係のトラブルの防止	B	B	
	食品	食品を扱うのに適した身なり・行動の定着	意識が定着してきている	十分達成できた	指導を継続する	A	A	
	生徒	①に同じ						
③教育相談の充実。	生徒	長期欠席者10名以内	長期欠席者10名	長期欠席者11名	より効果的なケース会議の実施	B	B	
④自己管理能力の育成。	厚生	う歯治療率40%以上	治療率18.5%	治療率42%	早い時期での達成を目指す	C	A	
	厚生	ごみの分別の徹底	夏季休業中の乱れがあったが。	できていない場所・クラスがあった。	ごみ箱をきれいにする。分別の張り紙を見やすくする。	B	B	
	3年	服装、物品の自己管理できる生徒の増加	大半の生徒が良好	良好な結果が得られた		A	A	

## (3) 豊かな心の涵養

項目	分掌名	達成基準	中間期の達成状況	年度末の達成状況	来年度の取組	評価(中間)	評価(最終)
①課外活動やボランティア活動等の充実。	生徒	学校行事において教員・生徒の満足度が70%	体育祭で新種目を導入できた	生徒の満足度 球技大会55% 体育祭59% 文化祭60%	更に生徒が自発的、自主的な取組ができるようにする。	B	B
	グリーン	小学校との交流事業を通じ、自己肯定感80%	各種交流事業を実施した	アンケートの結果、肯定的な回答が82%	更に生徒の自主性を高めたい	B	A
	食品	小学生との交流授業により、80%以上の達成感を持たせる	2回実施 80%以上の達成感があった	中間期と同じ	継続したい	A	A
	食品	農業クラブ各種競技への参加と上位入賞2競技以上	参加はできている プロジェクト発表入賞	積極的に参加できた 上位入賞は1競技		B	B
②人権教育や道徳教育の充実。	教務	人権映画 道徳教育	人権映画を鑑賞させた 道徳教育年間計画の配付	中間期と同じ		B	B

## (4) 進路指導の充実

項目	分掌名	達成基準	中間期の達成状況	年度末の達成状況	来年度の取組	評価(中間)	評価(最終)
①発達段階に応じたキャリア教育の充実。	総合	長期休業中の長期インターンシップの実施	5名参加予定	4名の参加		A	A
	食品	学科関連の進路先50%以上	学科関連の進学先内定率28%	学科関連進路先決定率31%		B	B
	進路	1・2年進路希望未定10%以下 進路決定満足度60%以上	現在取組を進めている	希望未定1年16% 2年5% 決定先満足度68.7%		B	B
	グリーン	2年生でインターンシップを実施し進路意識を高める	10月に実施 進路意識が高まった	中間期と同じ		A	A
②進路先の開拓を図ると共に、厳しい雇用状況に対応できる人材を育成する。	産業	3年生全員合格 2年生個人面談の実施	就職希望者の1回目の合格率が68%	2年生の面接実施 3年生は2名が未決定		C	B
	進路	就職内定率95%以上	10月末内定率63%	2月末内定率97%	内定までサポートを続ける	B	B
③進学指導の充実。	進路	進学希望者合格率95%以上	10月末合格率35%	2月末合格率96%		B	B

## (5) 学校広報活動の充実と開かれた学校づくりの推進

項目	分掌名	達成基準	中間期の達成状況	年度末の達成状況	来年度の取組	評価(中間)	評価(最終)
①生徒募集の充実。	教務	オープンスクール、地区別説明会の参加者の増加	オープンスクールは昨年度並み 地区別説明会は、大幅増	中間期と同じ	オープンスクールの申し込み方法の検討	B	B
②HPや地域への情報発信の充実。	総合	月1回の更新	9月から更新中	生活系列が中心となって更新できている	生活以外の系列の更新ができるよう検討して実施する	B	B
	食品	勝間田高校ブランド品づくりの推進	肉味噌、苺ジャム、クッキーの製造	中間期と同じ		A	A
	教務	情報発信のアイテムの整備・改善	ガイドブックを新たに作成 学校紹介番組の作成	中間期と同じ	ガイドブックの改善	B	B
	教務	新HPの研修の実施と迅速な更新	研修会を2回実施 更新が容易にできるようになった	中間期と同じ		A	A
③地域関係機関や学校などとの連携活動の推進。	グリーン	学校間交流に生徒が主体的に取り組む	授業での準備段階から主体的に取り組めた	中間期と同じ	企画立案から生徒に考えさせたい	B	B
	食品	地域特産品を利用した製品の開発	研究を進めている 栗大福はかなりの完成度である	中間期と同じ	更に発展させたい	A	A
	産業	ミスト発生機の貸し出し 水車による発電模型の完成	ミスト発生機は小学校に貸し出した	水車も完成し新聞記事にもなった	発電の実証 ミスト発生機の増設	A	A
④地域に根ざした学校として、学校資産の公開と活用の推進を図る。	③に同じ						